

けあき

医療の原点は思いやり

2025
JULY

32
vol.



女性骨盤機能センタースタッフ

INDEX

- 【特集1】中東遠医療圏初!「女性骨盤機能センター」開設します
- 【特集2】患者さんをサポートする「地域医療支援センター」
- 【クローズアップ】当院スタッフが開発した
介護タクシー予約システムが始動

中東遠医療圏初！ 「女性骨盤機能センター」開設します



左から消化器外科 深澤医師、リハビリテーション科 有本医師、泌尿器科 大塚医師、産婦人科 勝又医師

センター開設の経緯

尿もれや子宮脱などの骨盤底機能に関わる症状は、女性特有のとても身近な悩みごとです。すぐにトイレに行きたくなくなる、あるいは我慢できずに尿がもれてしまうため、外出や旅行をためらったり、あきらめたりしたことはありませんか？本当は日常生活に何らかの支障が出ているにも関わらず、多くの女性が適切な診療を受けずにいることが多いようです。

症状を何とかしたいという気持ちはあるけれども、何科を受診したらいいかわからない、デリケートゾーンの問題は恥ずかしくてなかなか相談できない、泌尿器科は男性が受診する科というイメージが強く受診をためらってしまう、といった様々な

ハードルを感じている方もいらっしゃるかと思います。そのような悩みをお持ちの女性の方々にきちんとした受診機会を提供したいとの思いから、このたび中東遠医療圏では初となる「女性骨盤機能センター」を立ち上げました。当センターは、泌尿器科・婦人科・消化器外科・リハビリテーション科の各専門医、看護師や理学療法士が密に連携し、様々な骨盤底機能に関わる女性特有の症状や疾患を専門的かつ横断的に診療いたします。

今まで誰にも相談できなかった方や恥ずかしくて医療機関を受診できなかった方も、どうぞお気軽に相談してください。

女性骨盤底について

女性の骨盤底は、幾重にも重なる筋肉や靱帯によって構成されています(図1)。普段は膀胱・子宮・直腸などの骨盤にある臓器を下から支えています。この骨盤底が出産、閉経後、加齢などで弱くなってくると、尿失禁(尿もれ)、骨盤臓器脱(膀胱瘤・子宮脱・直腸瘤)、直腸脱、便失禁などの女性特有の様々な症状や疾患を引き起こします(図2・3)。これらの病気は中高年女性の生活の質(QOL)を低下させ、健やかな生活に支障をきたす原因となります。

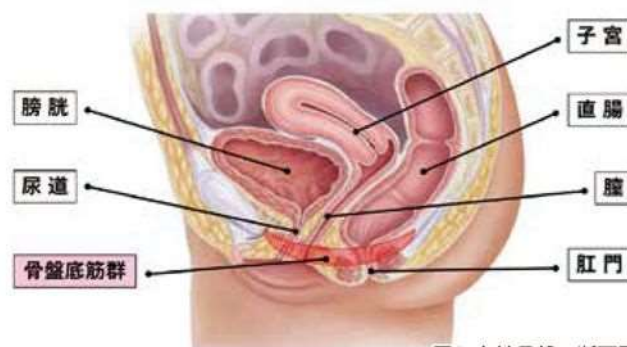


図1 女性骨盤の断面図

代表的な病気

●尿失禁(尿もれ)(図2)

女性の4人に1人が何らかの尿失禁を経験していると言われています。咳やくしゃみや運動時などの腹圧上昇時にみられる「腹圧性尿失禁」や、急な強い尿意を我慢できない「切迫性尿失禁」などが代表的です。

●頻尿・夜間頻尿

日中や就寝中に頻繁にトイレに行くことです。特に、就寝中にトイレに行く回数が増えると、睡眠に支障を来します。

●過活動膀胱

頻尿、急な強い尿意(尿意切迫感)、切迫性尿失禁を認めます。40歳以上の女性の8人に1人、80歳以上に限ると3人に1人の女性に認められます。

●間質性膀胱炎(ハンナ型)/膀胱痛症候群

慢性的かつ持続する高度な頻尿や膀胱の痛みを認めます。特に症状が強く重症の間質性膀胱炎(ハンナ型)は、厚生労働省により難病に指定されています。

●骨盤臓器脱(図3)

膀胱・子宮・直腸などの骨盤内臓器が下垂する状態です。立ち仕事や重たいものを持ったりすると陰から何か出てくる、入浴中に陰から何か出ているものを触れる、何か挟まっている感じがする、尿の勢いが弱くなる、といった症状を認めます。

●便秘(便もれ)

肛門を締めている筋肉が弱くなってくことで生じ、意図せず便がもれてしまいます。

●直腸脱

直腸粘膜が肛門から出てくるため、痛み、出血や排便障害を来します。

●閉経関連尿路生殖器症候群

女性ホルモンの低下が主な原因です。性器周辺の痛みや違和感を生じます。



図2 排尿に関する症状

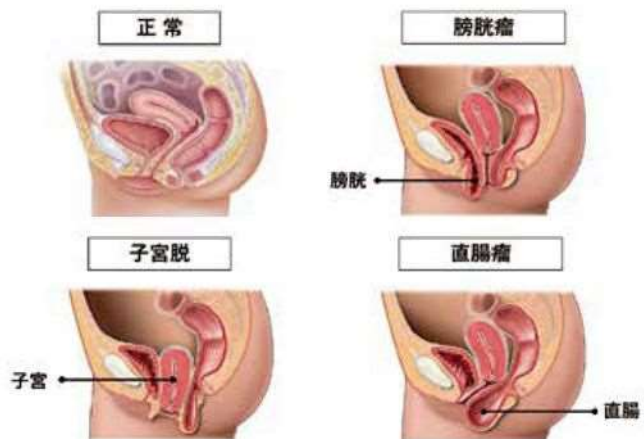


図3 骨盤臓器脱の種類

受診方法

当院は、「かかりつけ医」などからの紹介患者さんに高度な医療を提供することに重点を置く「紹介受診重点医療機関」です。当院を初めて受診する方は、まずは「かかりつけ医」を受診していただき、当センターへの紹介状をご用意の上、当院を受診いただきますようお願いいたします。

また、当院の受診には事前予約が必要です。紹介状をお持ちの方も「かかりつけ医」からの事前予約が必要となります。

令和7年8月9日(土)に「知ってあんしん 女性の困りごと～女性骨盤機能センターの開設～」をテーマに市民公開講座を開催します。参加費は無料です。

どなたでもお気軽にご参加ください。

詳細に関しましては当院ホームページをご覧ください。

ホームページ▶



副院長
女性骨盤機能センター長
泌尿器科部長

おお つか あつ し
大塚 篤史

患者さんをサポートする「地域医療支援センター」

磐田市立総合病院は、2011年9月に中東遠地域で初めて「地域医療支援病院」の承認を受けました。地域医療支援病院は、地域のかかりつけ医やかかりつけ歯科医をサポートし、医療機器の共同利用や紹介患者さんの受け入れなどを通じて、地域全体の医療を支える役割を担っています。その中でも「地域医療支援センター」は、当院と地域の病院やクリニックをつなぐ“懸け橋”のような存在です。地域の医療機関から紹介された患者さんの受診をサポートする「前方支援」や、治療後に地域の医療機関へとつなぐ「後方支援」を通じて、患者さん

が安心して医療を受けられる体制づくりに努めています。また、患者さんやご家族が抱える心の悩みや生活の不安、経済的な問題などについても、看護師や医療ソーシャルワーカーなどがチームで相談にのり、入院前から退院後まで支援に取り組んでいます。

当院では、高度な医療や難病治療にも積極的に取り組んでおり、地域の医療機関との連携がとても重要です。今後も「医療の原点は思いやり」という理念のもと、地域の皆さんに信頼される医療を提供してまいります。

患者さんをサポートする3つの部署を紹介！



「地域医療連携室」ってどんなところ？



看護師と事務職員が在籍し、地域の医療機関から患者さんの紹介を受ける連携と、逆に当院から地域の医療機関に紹介させていただく際の連携が主な業務です。また、病気のことや当院のこと、現在の医療事情等を住民の皆様に知っていただくために、地域医療セミナーや市民公開講座、出前講座の企画・運営を行っています。

地域の医療機関、介護従事者との連絡会や研修会を行い、地域医療の資質向上によって、切れ目のない充実した医療を提供するための活動をしています。

業務内容

- 紹介患者の予約受付（診療・検査）
- 診療情報の提供依頼
- 返書管理
- 医療機関等の訪問
- 地域の医療機関、福祉、介護施設等との連絡会の事務局
- 地域連携パスの事務局
- 地域医療セミナー、市民公開講座、出前講座、在宅医療連携勉強会の企画・運営



「入退院管理室」ってどんなところ？



入退院支援看護師

入院が決定した患者さんが安心して治療を受け、退院後もその人らしい暮らしが継続できるよう、入院前から退院後まで入退院支援を行っています。

入退院支援看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員、管理栄養士、薬剤師等の多職種が連携し支援を行っています。



業務内容

- 入院支援：入院への不安が軽減されるよう入院生活や費用の案内、お薬の確認等を多職種で行っています。
- 退院支援：患者さんが退院した後も安心して療養生活を続けられるように、院内多職種が連携して患者さん・ご家族を支援しています。
- 外来支援：患者さんが住み慣れた地域で生き生きと生活できるように、院内外の関係者と連携し支援を行っています。



看護師によるカンファレンス

「医療・福祉相談室」ってどんなところ？



対面による相談

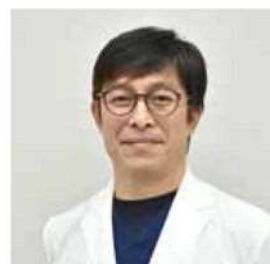
看護師3名、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）7名（うち精神保健福祉士2名）、臨床心理士2名、よろず相談員（警察OB）2名といった様々な職種が在籍しています。各職種が専門性を発揮し、電話や対面により種々の相談に対応しています。

相談者のお話を伺い、一緒に考えていく中で、相談者が安心され、「相談して良かった」「ありがとう」というお言葉をいただいたり、笑顔でお帰りになる姿に大きなやりがいを感じます。



相談内容と担当職種の例

- がん相談：看護師、社会福祉士、臨床心理士
- 肝疾患相談：看護師、社会福祉士
- 認知症相談：精神保健福祉士、看護師、臨床心理士
- 医療相談：看護師
- 医療福祉相談：社会福祉士
- 就労相談・両立支援：社会福祉士、院外相談員（社会保険労務士、ハローワーク）
- よろず相談：よろず相談員



地域医療支援センター長
呼吸器外科部長

もち つき たか ひろ
望月 孝裕

当院スタッフが開発した 「介護タクシー予約システム」が始動



左から増田MSW、美馬MSW、朝比奈診療放射線技師

簡単な操作で予約可能な事業者が表示される



当院での診療を終え、他院への転院やご自宅への退院が決まった際には、当院スタッフが介護タクシーの配車予約を行っています。通常、各事業者に電話で空き状況を確認しながら手配を進めますが、混雑状況によっては、予約完了までに1時間以上を要することもあります。このたび、当院の診療放射線技師や医療ソーシャルワーカー（MSW）が中心となり、介護タクシーの予約を支援する専用のウェブシステムを開発し、運用を開始しました。

転院・退院時の“足”をスムーズに

本システムは、患者さんの情報や希望する出発時間をもとに、予約可能な介護タクシー事業者を自動で抽出し、事業者名と電話番号を表示する仕組みです。スタッフは表示された情報をもとに、スムーズに電話予約を行うことができます。これにより、業務効率が大幅に向上しました。

この取り組みは、昨年度、当院で開催された「業務改善コンテスト」において最優秀賞を受賞しています。

ITの力で

医療現場をもっと「便利」に

このシステムを開発したのは、当院の放射線診断技術科 副主任 朝比奈さんです。以前には、検査や手術前の説明をイラスト付きでわかりやすく伝える、外国人患者さん向けの多言語対応通訳アプリも手掛けました。今回のシステムも、MSWからの相談をきっかけに、朝比奈技師が開発しました。「現場の困りごとを解決することで、患者さんの安心や利便性につながるのであれば、とても嬉しいです」と朝比奈技師は話します。医療機器のスペシャリストである診療放射線技師が、ITの力を活かして医療と日常生活の“すき間”を埋めていく姿勢は、当院の大きな強みのひとつです。このウェブ予約システムは、今後、地域の医療機関や介護施設との連携を深め、より広いエリアでの利便性向上を目指しています。

病院の役割は、診療にとどまりません。患者さんの“移動”や“安心”までを支える取り組みを、これからも広げてまいります。

院内日記

磐田市立総合病院ニュース

市民公開講座を開催しました!

4月12日に、「がんとの共存・共生」をテーマに、第27回市民公開講座を開催し198名の方にご来場いただきました。前立腺がん、乳がんの講演と、認定看護師からがんになった時の心持ちや正しい情報をつかむことの大切さの説明があり、大盛況の講座となりました。



中央技術研修が始まりました!

新人看護師たちは、臨床で実践する機会の多い静脈採血、血糖測定、点滴管理の技術を習得するための研修を行いました。

先輩看護師に丁寧に教えてもらいながら、真剣なまなざしで研修に取り組んでいました。まだまだ研修は続きます! 新人看護師たちは、患者さんやご家族に寄り添える医療人になれるよう研修に励んでいます。



iwatagram

職員の特技や趣味を紹介します



みやき 宮木 薬剤師

週末や連休には友人や家族と旅行に行きます。中でも全国の有名な神社やお寺巡りが好きです。最近は厳島神社と金刀比羅宮に行ってきました!



♡♡♡

#女子旅 #神社巡り #パワースポット #御朱印集め
#今年こそは海外へ



総量 (1人分あたり)

エネルギー 510kcal 炭水化物 77.8g

たんぱく質 18.2g 食塩相当量 1.4g

脂質 12.5g

材料(4人分)

・米	2合	・蓮根	2cm
・酒	大さじ1杯	・米酢	大さじ2杯
・昆布	10cm	B 砂糖	大さじ2杯
・米酢	大さじ3杯	・うなぎのかば焼き	
A 砂糖	大さじ3杯		200g
・塩	小さじ1/2杯	・卵	1個
・胡瓜	1/2本	・きざみのり	
・人参	4cm		1つまみ

砂糖の代わりにラカントなどエネルギーのない調味料を使うことで、約40kcal減らすこともできます。



作り方

うなぎちらし寿司

- ① 洗って水切りをしたお米にお酒と分量の水、昆布を入れて炊く。
- ② 炊きあがった米飯に調味料Aを入れ、切るように混ぜて冷ましておく。
- ③ 胡瓜は輪切りにし、さっと湯通しをし、水気を絞る。
- ④ 人参は千切りにし、茹でて冷ましておく。
- ⑤ 蓮根は皮をむき、1mmほどのちょう切りにし、酢水にさらしておく。
- ⑥ 鍋に水と分量外のお酢を少々入れ、⑤を茹でる。調味料Bに熱いうちに入れ味をなじませる。
- ⑦ 卵に水少々を入れ薄焼き卵を作り、千切りにしておく。
- ⑧ ボールに②、③、④を入れ、混ぜてから器に盛る。
- ⑨ うなぎのかば焼きと⑥の酢蓮根と⑦の錦糸卵、きざみのりを盛り付ける。



おいしい「！」がある
pokka Sapporo

日用品雑貨卸

平田屋

〒438-0043

静岡県磐田市上岡田911-1

TEL: 0538-32-1632

※広告内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、取扱商品等については、磐田市立総合病院が必ずしも推奨するものではありません。



(仮称)内視鏡センター開設に向けて 工事を行っています

現在、令和7年5月より令和8年5月までの予定で、(仮称)内視鏡センター開設に向けた工事を病院本館東側で実施しています。期間中、バス停やタクシー乗降箇所が移動しております。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



磐田市立総合病院

〒438-8550 静岡県磐田市大久保512番地3

TEL: 0538-38-5000 FAX: 0538-38-5050

<https://www.hospital.iwata.shizuoka.jp>



過去の『けやき』
はこちら



インスタグラム
はこちら



フェイスブック
はこちら